



慈愛の種を 播きましよう

2002～2003年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区 — 佐野 孝
ガバナー — 松谷 昊吉
会長 — 佐野 勝栄
会長エレクト — 渡辺 喜彦
副会長 — 渋谷 正一
幹事 — 荻根澤 隆雄
副幹事 — 山田 富義
S A A — 杉山 幸英
副 S A A

例会日 — 毎週水曜日 12:30～

例会場及び事務局 — 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内

例会場 — TEL 35-3311

TEL 35-3477

事務局 — FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

本日出席会員数	65名中 46名
先々週出席率	83.87%

ビジター

三条南より 野島廣一郎さん
三条北より 中條耕二さん

ゲスト

タイ山岳少数民族支援の会
代表 高橋素三子様

先週のメイクアップ

9/3 三条北へ 渡辺喜彦さん

会長挨拶

松谷昊吉会長



昨年の5月、食品リサイクル法が施行され、食品メーカーや小売店、外食産業は食品廃棄物の再資源化が義務づけられています。しかし、私達一般家庭からも同じ位の量の生ゴミが出ているのです。その量たるや合わせて年間2000万tにのぼります。古新聞の6倍、廃棄される車の4倍もあります。食品廃棄物

いわゆる生ゴミは食品を作る時、売る時、食べる時、それぞれの段階で出ます。たとえば、刺身を作るとすると刺身にならない部分は廃棄物になりますし、スーパーでその刺身が売れ残ればこれは流通段階での廃棄物、最後にレストランや家庭での食べ残しは消費段階での生ゴミになります。このようにゴミを出しつつ皿の上に食べ物がのる訳で、その陰には何倍ものゴミ

があるのです。そして、その2000万tのうち製造段階が18%、流通・事業用消費で30%、残り52%が家庭からで、1000万t出ています。この量は日本で一年間に食べている米の量と同じです。いかに無駄をしているかがわかります。この1000万tのうち、リサイクルされる量は肥料化されるものがほとんどで、わずか0.3%にしかすぎません。製造段階からのリサイクルが48%に比べて微々たるものです。

家庭用堆肥作りの製品がいろいろ開発されていますが、もっと安くならなければ普及はむずかしい状況です。

99.7%が埋立、焼却ではいくらスペースを作ってもきりがありません。我々日常生活の中でも無駄を作らない努力は必要です。

幹事報告

渋谷正一幹事

◎三条ローターアクトより

五十嵐川クリーンのご案内がとどいております。

と き 9月8日(日) AM 9:50 集合

集合場所 一新橋たもと

装 備 軍手、長靴、長ズボン

◎先週もご案内いたしました。9月8日(日)はI・M

ですので、ご出席の方はよろしくお願い致します。

※昼食はないので、すませて来て下さい。

ニコニコBOX



松谷昊吉さん

ゲストスピーカー高橋素三子さんを歓迎して。

高橋 司さん

今日、長男の誕生日です。28才になりました。

船越正夫さん

高橋様、卓話楽しみにしております。

清水良一さん

8/28宅建取引主任者法定講習会(免許更新)に出席のため、事前クラブ協議会に出席できず、残念でした。スマイルボックスのご協力をお願いいたします。

9月4日分 ￥ 5,000
今年度累計 ￥154,000

卓 話

「タイの山岳少数民族の 子供達を学校へ」



タイ山岳少数民族支援の会

代 表 高橋素三子様

1 タイの山岳少数民族の子供達を学校へ

ラオス、ミャンマーに国境を接するタイ北部の山岳地帯で、焼畑をしながら森の中でひっそりと暮らしていた少数民族。彼らは今や時代の波に翻弄され、経済的に貧窮しています。そのため就学が困難な児童が多く、満足な教育が受けられない状態が続いています。

皆さんの善意がひとりの子供の未来の夢をかなえてあげることができるのです。

2 タイ山岳少数民族とその現状

タイ北部の山岳地帯にはラフ族、リス族、アカ族、カレン族、ヤオ族、モン族など約600万人の山岳少数民族が集落を作り、自給自足の暮らしを営んでいました。彼らは遊牧の農耕・狩猟民族ですから、国籍意識は希薄です。

ところがベトナム戦争以後に興った森林保護と麻薬撲滅の運動の昂まりから、ケシ栽培・焼畑農耕・森林伐採・移住遊牧の禁止で生活の基盤が全て奪われ、貨幣経済の枠組みの中に放り出されました。

現金収入を求めて都会に出て行った者は、タイ語も話せず国籍がないため労働許可書も得られず、低賃金で過酷な労働を強いられています。

また近頃は覚醒剤が蔓延し、森を知りつくしている山岳民は国境を越える運び屋として使われたりします。

貧困のため「子売り」をする親は後を絶たず、エイズを恐れるバイヤーは山岳の幼い女の子を標的にします。女の子は「あきらめ」と「慣れさす事」を目的に早めに1日に12・3人の相手をさせられます。子供はつらくて逃げても、タイ語が話せないため逃げ切る事ができません。

出口の見えない貧困の中で、従来勤勉だった山岳民族は次々と労働を放棄して、荒廃した生活を送る例も多いようです。

固有の優れた文化を持ちながらも彼らの生活は貧窮の度合いを増しているのです。

3 子供達の教育をめぐる実状

山岳の子供達にとって「学校に行く」という事はとても大変な事です。

第一に貧困、法を犯して捕られる親、希望もなく暴力を振るう親、子を売り売春や強制労働をさせる親、麻薬に溺れて崩壊する家庭など教育を考える以前の段階にあります。

タイ人として生きるにはまずタイ語と騙されたり知らずに法を犯さぬ様、身を守る程度 of 法律知識は不可欠です。その為の第一義が教育であると親の意識改革からせねばなりません。

第二に村が山々に点在するため、小学校は幼い子供の足で通える距離ではありません。低学年の子供のための寺子屋が必要です。

中学校になると国籍のない子供は小学校の「卒業」が有り得ませんので進学は出来ません。制服・教材と費用もかかり、更に遠いため山の家からは通えません。何らかの寮を探すのですが、入れる人数も少なく、遠い町の寮となる為、ますます費用が高み進学出来るのはわずかです。子供達はすぐ町の生活に慣れ、山の文化を忘れがちです。

学校教育だけでは民族文化の伝承やアイデンティティーの確立は望めません。村になるべく近くの中学校に通う事が必要です。教育を受けた者が都市に流れるのではなく、生まれた地域や民族の発展に寄与する様願っています。

4 夢の家基金

教育とは子供に夢を与えるものです。山岳民族の子供達の将来がより良いものとなるように「夢の家基金」は作られました。

そのため以下の活動を行っております。

1. 地域保育センター

村内に作られた幼児と遠すぎて通学できない低学年児童のための保育施設です。祭りなど民族文化の伝承と、入学前にタイ語・算数の教育を行います。

2. 学生寮「夢の家」

一番近い中学校へ歩いて行ける所に作られた寮です。学校に通うために親元を離れなければならない子供達が、自給のための農業活動をやりながら共同生活をしています。

更にこの寮は孤児や麻薬・暴力により家庭が崩壊した子供や、強制的に売春や労働をさせられている子供達のシェルターにもなっています。



《会員企業紹介コーナー》

五十嵐昭一 会員選考委員長

「おはようからおやすみまで」
清潔な暮らしに奉仕する
日用品を取扱っております。

株式会社ローハチ

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺2-25-29
TEL (0256) 32-0692 FAX (0256) 33-3073



次週例会 9月18日 卓話「神社、神道の基礎知識」
五十嵐神社 宮司 金沢光幸様

次々週例会 9月25日 佐野 孝ガバナー公式訪問

